

THE JFROG DEVOPS PLATFORM: ソフトウェア サプライチェーンを強化

あらゆる企業がソフトウェア企業になっているという事実があります。デジタル・エクスペリエンスはお客様との会話、パートナーとのコラボレーション、社員の能力を引き出す重要な鍵となっています。その一方でアプリケーションの品質が競争力と成功を左右すると理解することは、ほんの始まりに過ぎません。ソフトウェアのすべてのサプライチェーン全体をどのように管理すればよいのでしょうか。市場の変化に対応し、売上、ROI、効率性、生産性、革新性を向上させるために、ソフトウェアを迅速、安全、頻繁にリリースするにはどのようにしたらよいのでしょうか？

競合他社はこの状況を見極め、すでに行動を起こしています。IDCの予測では2022年にはデジタルが世界経済の50%以上を支える、あるいは影響を及ぼすとしています。また、2020年にデジタルから40%以上の利益を生む企業は3社に1社でしたが、2023年には半数に増加すると予測しています。マッキンゼー・アンド・カンパニーによると「ワールドクラス」の能力を持つ企業は、8~12週ごとに新しいアプリケーションを提供し、毎日10~50ものアップデートをリリースして改良を続けています。

企業がデジタルの強豪になれない理由は何でしょうか？適切な人材、テクノロジー、運用のベストプラクティスがなければ、企業はソフトウェア開発ライフサイクル(SDLC)を最適化するのに苦労するでしょう。本書では、開発チームと運用チームを統合するテクノロジーとプロセスの組み合わせである、DevOpsを成功させる方法とJFrogがサプライチェーンを完全に制御してデジタル・チャンピオンのステータスを獲得するのにどのような支援を行うかについてご紹介します。

課題



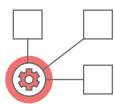
「開発」と「運用」の融合

開発と運用を真のDevOpsチームとして統合するには、文化、テクノロジー、プロセスを変える必要があります。開発者と運用者はビルド、テスト、インテグレーション、デプロイを自動化するための共通のツールセットを活用して、SDLC全体で共同作業を行い、非常に多様なハイブリッド環境向けにソフトウェアの修正、テスト、セキュリティ対策などを繰り返し行う必要があります。



ソフトウェアサプライチェーンの一元管理

DevOpsチームがリリース頻度を上げると、自社開発やサードパーティのバイナリファイルとアーティファクトを含むさまざまなソフトウェアパッケージがたくさん生成・消費されます。スピード、セキュリティ、トレーサビリティ、これらアーティファクトの管理などにおけるミスを回避するには、大量のコンポーネントを迅速にキュレーションすることがとても重要です。ツールセットやワークフローの断片化は、パイプラインの速度低下、チームの生産性低下を招き、セキュリティとコンプライアンスを危険にさらします。



グローバルなソフトウェア配布

ソフトウェアパッケージを従来のようなデータセンターではなく、外部の店舗や支店、IoT/エッジポイントなど地理的に分散した拠点に配布する機会がますます増えてきました。グローバルなソフトウェア配布を迅速、スムーズかつ安全に実行するには、接続の問題、帯域幅の制限、リモート管理の難しさなどを克服する必要があります。特に無数のIoT/エッジデバイスをセキュアに更新する必要がある場合には大変な作業です。



エンドツーエンドで自動化された

ソフトウェアサプライチェーンのセキュリティとコンプライアンス

ソフトウェア環境が地理的に分散し、ハイブリッドやヘテロジニアスなものとなり、疎結合のサードパーティによるサービスが混在するようになると、SDLC全体にセキュリティとコンプライアンスの自動チェックを組み込む必要があります。ハッカーは信頼できるチャンネルを経由して、バイナリの中にマルウェアを仕込んで無防備なユーザーに配布しようと考えています。マルウェアを侵入させる手段として、主に開発者が使うオープンソース(OSS)コンポーネントが狙われます。OSSには危険な脆弱性や誤った設定が含まれている可能性があるため、ソフトウェアサプライチェーンのセキュリティ、可視性、コントロールを完璧にする必要があります。

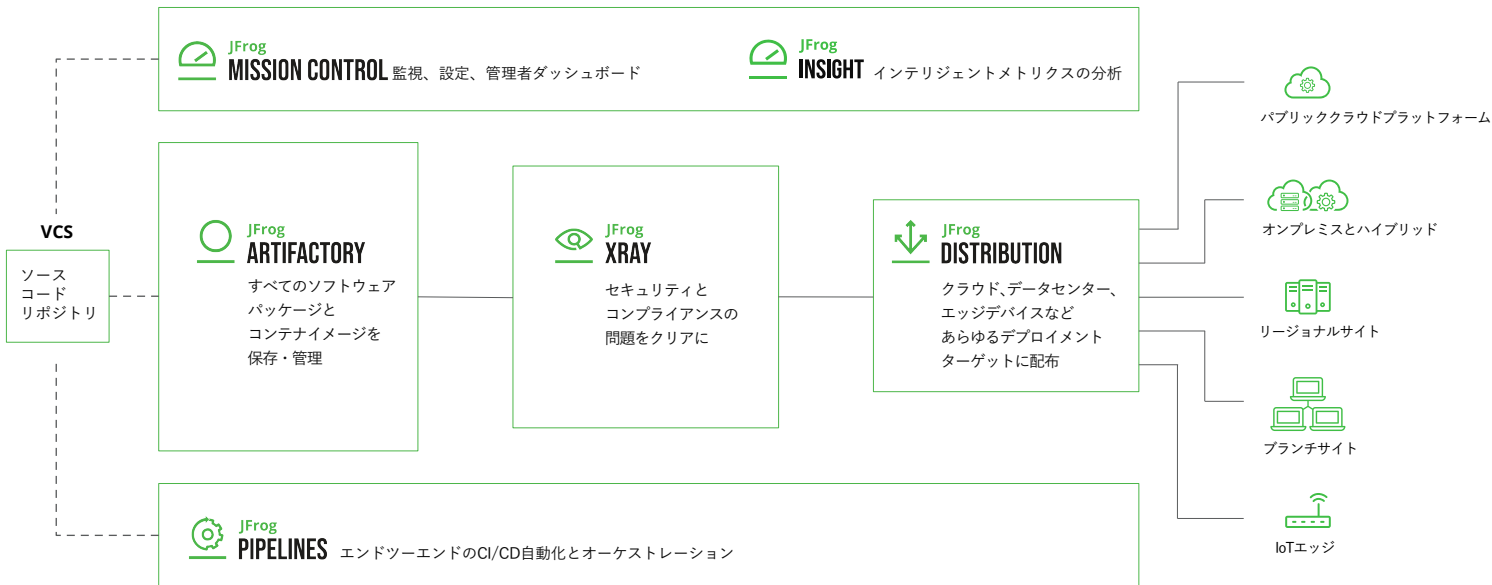
JFrogがどのように解決するか

JFrogは2008年に設立されたDevOpsのパイオニアでありDevOpsエコシステムの形成に貢献してきた業界のトップリーダーです。Fortune 100の大半を含む何千もの企業がリリースの管理、セキュリティ保護、スピードアップを実現するためにエンドツーエンドの**JFrog DevOps Platform**に信頼を寄せています。

JFrog Platformとは

JFrog Platformは開発者と運用者に統合ソリューションを提供しビルド、テスト、セキュリティ保護、デプロイ、配布などソフトウェアサプライチェーン全体を強化します。SDLCの問題になっていたサイロ化されたチーム、プロセス、ツールセットはもう必要ありません。

JFROG PLATFORM



ソフトウェアサプライチェーンにおけるユニバーサルなバイナリ管理

アーティファクトの量と種類が急増しても、ソフトウェアのサプライチェーン全体でアーティファクトを一元化して保存、管理、追跡できます。オンプレミス、マルチクラウド、ハイブリッドなどあらゆるプログラミング言語とコンピューティング環境において、すべてのバイナリのライフサイクルを明確に把握できます。

自動化されたセキュリティ

すべてのバイナリを再帰的に深くスキャンし、ソフトウェアサプライチェーンの安全を保ちつつ、包括的で自動化されたセキュリティとコンプライアンスをチェックします。具体的にはOSSソフトウェアコンポーネントの脆弱性やライセンスコンプライアンスの問題を継続的に検出します。JFrogはパイプライン全体に「DevOpsのデータベース」を提供するため、ソフトウェアコンポーネントだけでなく、それらの構築方法や依存関係の利用方法も証明する**ソフトウェア部品表 (SBOM)**の要件も満たします。

コードからエッジまでのシームレスな配布

スピードやパフォーマンスを犠牲にすることなく、あらゆるタイプの環境でアプリケーションを構築、デプロイ、配布するための完全な柔軟性と選択の自由を享受できます。当社のプラットフォームはオープンなAPIと**拡張可能な**アーキテクチャによって幅広いエコシステムと統合されており、リリースの整合性チェック、ダウンロードの最適化、**ゼロトラストのセキュリティ**設定、ローカライズされたキャッシュなどグローバルレベルでシームレスに拡張できます。

JFrog Japan 株式会社

御社のDevOps環境でも、ソフトウェア配布の拡張、スピードアップ、最適化を図りましょう。必要なテクノロジーとベストプラクティスについて、JFrogがどのような支援を行えるのかについては下記お問合せ先までお気軽にご相談ください。

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 Global Business Hub Tokyo | TEL: 03-4243-1049 | Webサイト: jfrog.com/ja/ | ブログ: jfrog.com/ja/blog/
お問い合わせ: jfrog.com/ja/contact-us/

- JFrogの名称、ロゴマークおよびすべての JFrog製品の名称は、JFrog Ltd.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- JFrogは、通知を行うことなく、いつでも該当製品およびサービスの提供、機能を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

